

ダブリン行きの飛行機には、ルーマニア人の2人の若者が隣り合わせていた。

西側社会での新しい生活を夢見て祖国を捨て新天地アイルランドでの生活を始めようとする16歳の少女マダリーナと24歳の学生ボグダン。マダリーナは、アイルランドで芸能プロダクションをやっているというヴォイクにスカウトされ、彼を頼ってダブリンに行こうとしている。ボグダンは、奨学金をもらってヴィジュアルコミュニケーションを勉強し、映像関係の仕事に就くことを夢見ている。

異国の地で必死に生き抜こうとする彼らだが、生活は厳しく社会に溶け込むことは難しかった。

遠く約束の地。やがて3人は違法の商売に手を染め……。

精華小劇場で創るベルリンの演劇

日本の現代演劇がヨーロッパの影響をうけて発展してきたことは言うまでもない。

なかでも20世紀に活躍したベルトルト・ブレヒト(1898-1956)や、ハイナー・ミュラー(1929-1995)という巨星を輩出した「ドイツ演劇」は、日本の「新劇」から「現代劇」にいたるまで、強い影響を与えてきた。

そして現在も多くの実験的な試みがなされているベルリンは「世界の演劇の中心」と言って過言ではない。しかしベルリンの演劇を観る機会は実に少なく、戯曲などの本から「ドイツ演劇」を知ることの方がずっと多い。

「ナマの舞台」を観ることが演劇の本質だとすれば、私たちは日本の現代演劇に大きく関わった「ドイツ演劇」をずっと知らないままになってしまう…。

そこで今回実行委員会を設け、「ベルリンの演劇」を精華小劇場で創ることになった。

舞台製作の中心として、ユニークな演出で国内外から注目を集めているドイツ人演出家 エンリコ・シュトルツェンブルクを招き、日本人俳優・スタッフと共に約2週間かけて舞台を創りあげる。

また、上演だけでなく同時に開催される演出家による講演やアフタートーク、

さらにワークショップやレクチャーを通じて、ドイツ人演出家の演出法や演劇理論、

ドイツの劇場制度などに触れて頂ければ幸いです。

ケバブ実行委員会事務局長 笠井友仁

KEBAB ケバブ

主催 | ケバブ実行委員会

共催 | 日本演出者協会、精華小劇場活用実行委員会、精華演劇祭実行委員会

協力 | NPO法人大阪現代舞台芸術協会(DIVE)、大阪新劇団協議会

GOETHE-INSTITUT JAPAN / ドイツ文化センター・大阪

精華小劇場

公演期間=7月10(金)→12(日) (全4回公演)

10日(金) 19:30 / 11日(土) 14:00、19:30 / 12日(日) 13:00

アフタートーク= ウォーリー木下 (作家・演出家、sunday代表) → 10日19:30の回終了後

高橋宏幸 (演劇批評、シアターアーツ編集代表) → 11日19:30の回終了後

レクチャー= 11日14:00の回終了後

演出家エンリコ・シュトルツェンブルクが語る「Kebab」(日本演出者協会主催事業)

料金=前売/2,800円 当日/3,300円 学生/1,500円(全席自由)
アフタートーク/レクチャー 500円/1,000円(共に半券をお持ちの方は無料)
開場は開演の20分前、受付は開演の40分前 [チケット発売日] 6月1日(月)

問合せ・申し込み=ケバブ実行委員会

TEL 06-6453-7600 (松本工房内)

E-mail: info@kebab-seika.com

<http://kebab-seika.com>

▶ 詳細・追加情報はホームページをご覧ください。

照明 | 根来直義 (Top. gear) 音響 | 竹下祐貴

宣伝美術 | 松本久木 (MATSUMOTOKOBO Ltd.)

web | 間屋口克 × 松本久木

制作 | 笠井友仁 (エイチエビシーシアターカンパニー) 間屋口克

演出 | エンリコ・シュトルツェンブルク Enrico Stolzenburg

演出家1973年、ベルリン生まれ。ドイツ演劇学校の名門エルンスト・フッシュ演劇大学にて演出を学ぶ。ヴァイマル国立劇場、ベルリン市立劇場、フライブルク劇場などで演出家として活躍した後、2002年からベルリンのシャウブühネにて演出作品を製作している。

代表作に「Kebab」(作 Gianina Carbutari)や「カルテット」(作 ハイナー・ミュラー)などがある。

翻訳 | 市川明 Akira Ichikawa

(ケバブ実行委員会代表/大阪大学大学院文学研究科教授)

専門はドイツ文学・演劇。ブレヒトやハイナー・ミュラーなどドイツの現代演劇を主に研究している。現在「ブレヒトと音楽」全四巻に取り組み、「ブレヒト詩と音楽」(花伝社)をはじめ第三巻までを刊行している。NHKのドイツ語講座を長らく担当し、「ドイツ語ステップアップ」など語学教科書・参考書も多い。演劇創造集団ブレヒト・ケラーの代表幹事として、多くのドイツ演劇を翻訳し、関西で上演し続けている。

演出助手 | 土橋淳志 Atsushi Tsuchihashi

(劇作家、演出家/A&E MissingLink)

1977年生まれ。京都府出身。1997年に近畿大学に入学。演劇活動を始める。2000年「A&E MissingLink」旗揚げ。現在までに全ての作品の脚本と演出を担当。知的エンターテインメントを自称する作風に定評あり。「小屋ヲ建テル」が若手演出家コンクール2002にて最優秀賞受賞。「決定的な失敗に補償などありはない」が第14回OMS戯曲賞の最終選考に残る。

演出 | 七味まゆ味 Mayumi Shichimi

(俳優/柿喰う客副代表)

俳優の客の全公演に出演する看板俳優。スラリとした細長い体と、ころんとした丸い顔を武器に、怪しいニオイを撒き散らす。

2008年佐藤佐吉賞「優秀主演女優賞」受賞。2007年佐藤佐吉賞「最優秀助演女優賞」受賞。主な出演作品:「NODA-MAP」/「パイパー」(作・演出=野田秀樹)、シアターコクーン「タンゴ・冬の終わりに」(作=清水邦夫/演出=鶴川幸雄)ほか多数。

演出 | 仲里玲央 Reo Nakazato

(フリー)

1978年沖縄県生まれ。1998年劇団潮流に入団。2007年よりフリー。潮流では「あひるの靴」(作/倉本聰)、「ボクサー魂」(関西俳優協議会最優秀新人賞) (作/レ・コブチナー) など出演多数。2008年ブレヒト・ケラー「ゴビ砂漠殺人事件」(作/B・ブレヒト)にて韓国公演を体験。清流劇場「モザイク」(作/田中孝弥)、コスミックシアター「フリーランサー」、新劇団合同公演「おはようおえり」(作/馬場千恵)他、近年の活躍は目ざましい。

演出 | 山崎彬 Akira Yamasaki

(俳優、劇作家、演出家/悪い芝居代表)

1982年12月10日生。作家・演出家・俳優。2004年悪い芝居を旗揚げ。妄想からくる痛い戯曲を、ポップな演出で塗り脱履化し、現代演劇を逆流する作品を京都・大阪・東京で発表。全作品に、自ら役者として舞台上立つ。その他、京都芸術センター舞台芸術賞2007/ミニネート、TBS系全国ネット「侍チュート」構成参加、映画「色即せねいしょん」(監督:田口モロア)出演など、活動は多岐にわたる。

【関連企画】日本演出者協会主催 国際演劇交流セミナー ドイツ特集2009

『ベルリン 2つの視線』(大阪情報)

会場 精華小劇場、スタジオ315 (詳細は下記にお問合せ下さい)
料金 Enrico Stolzenburgによるワークショップ=8,000円
Enrico Stolzenburgによるレクチャー1=1,000円 (ワークショップ参加者は無料)
Volker LudwigによるレクチャーII (+ドラマリーディング)=1,000円
シンポジウム=1,000円

申し込み先 日本演出者協会 関西ブロック 担当:堀江ひろゆき/笠井友仁
TEL: 090-5257-1334 (笠井)
TEL & FAX: 06-6768-5588 (日本演出者協会関西ブロック)
workshop200907@yahoo.co.jp

主催 日本演出者協会
共催 ケバブ実行委員会、精華小劇場活用実行委員会、精華演劇祭実行委員会
協力 NPO法人大阪現代舞台芸術協会(DIVE)、GOETHE-INSTITUT JAPAN / ドイツ文化センター

【会場】

精華小劇場

眠らない街、眠らせない(拠点劇場)
542-0076 大阪市中央区難波3-2-4
<http://www.seikatheatre.net>
TEL. 06-6643-7692 (11:00~18:00)
E-mail: info@seikatheatre.net

地下鉄御堂筋線・四つ橋線
千日前線「なんば」駅・近鉄電車
阪神電車「大阪難波」駅下車
①・①番出口を出て徒歩3分
※駐車場、駐輪場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

